
第4回 垂水市新庁舎建設検討委員会 会議録

■日時：平成29年12月21日（木）10:00～11:52

■場所：垂水市役所3階 第1会議室

■出席者

【垂水市新庁舎建設検討委員会】

鯨坂委員長・川井田副委員長

林 委員・橋口委員・日高委員・篠原委員・安藤委員・黒川委員・角野委員

前田委員・後迫委員・和田委員・菅 委員

（欠席）山口委員

【事務局】

尾脇市長・長濱副市長

企画政策課長・同課課長補佐・同課主幹兼政策推進係長・同係（副主幹・主査・主任主事・主事）

【オブザーバー】

株式会社綜企画設計 渋田氏、徳久氏

1. 開会

（事務局） おはようございます。本日はお忙しい中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。それではただ今より、第4回垂水市新庁舎建設検討委員会を開催します。はじめに欠席委員の報告ですが山口委員は所要のため欠席という報告を受けています。以上1名の欠席はございますが、垂水市新庁舎建設検討委員会設置要項第6条第2項により、過半数の委員の皆様の出席を頂いておりますので、委員会は成立いたしました。

次に、本日は基本計画策定委託事業者オブザーバーとしてご出席いただいております。株式会社綜企画設計の渋田様、徳久様でございます。

ここで市長にご挨拶をお願いいたします。

2. 市長あいさつ

（市長） 皆様、改めましておはようございます。垂水市長の尾脇でございます。師走の大変お忙しいところ第4回垂水市新庁舎建設の検討委員会にご出席を頂きましてありがとうございます。また、皆様には日頃から垂水市の様々な事業運営に関しまして、ご協力を頂いておりますことにも感謝申し上げたいと思います。

これまで基本構想に関して、とりまとめの提言を頂きました。それらを踏まえて11月1日に垂水市庁舎整備基本構想の決定いたしました。今回の会ではその決定をされた考えに従った3候補地に関して、それぞれご説明をさせていただきます。その上で建設的な評価、あるいはご意見を頂きたいと思っております。今更申し上げるまでもなく、庁舎を建設してから60年近くが経ち、かなり古い建物ということでもあります。安心・安全上の様々な課題がございます。そういったこともございますので、ご

協議を頂きたいと思っております。

本日は忌憚のないご意見を頂きますことを申し上げまして、開会に対しましてのご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局) ありがとうございます。それでは、これから先は鯉坂委員長に審議の方の議長を務めていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

3. 協議

(委員長) おはようございます。

今日は、市長からもお話がありましたように、どの位置にするべきかという重要な課題があります。活発なご意見を是非、お願いしたいと思います。特に敷地の選定については、実際に使われる方、住まわれている方が場所を考えていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは皆様方のご協力を頂きながら進めさせていただきます。

はじめに前回の会議録の内容について問題がなければ、このままホームページ公開ということになりますけど、いかがでしょうか。前回、色んなご意見が出ていますので、自分で確認した方がよろしいかと思います。今日、帰られる時まで確認いただいて、掲載するというところでよろしいでしょうか。

(委員) <異議なし確認>

(委員長) それでは、はじめに経過報告について事務局の方から説明をお願いします。

(事務局) ※事務局説明

(委員長) 今の意見に対しまして、質疑意見等がありますか。それでは、次に進みたいと思います。2番目の新庁舎整備基本計画策定スケジュールについて、事務局の説明をお願いいたします。

(事務局) ※事務局説明

(委員長) 今の説明に対しまして質疑、ご意見等ありますでしょうか。それでは次に進みたいと思います。3番目の新庁舎整備基本計画骨子案について事務局の説明をお願いします。

(事務局) ※事務局説明

(委員長) ありがとうございます。今の説明に対しましてご意見、ご質疑お願いいたします。

(A委員) この計画によると、駐車場は何台位を想定されているのか。現在の垂水市庁舎の駐車場というのはほとんどない状態で今日も7~8分ぐるぐる回ってようやく離れたところに止めました。どの位を予定されているのか教えていただきたい。

(委員長) 事務局のほうから、駐車場の想定台数をお願いいたします。

(事務局) 駐車場の想定台数ですが、現在のところは本庁舎の現状としましては来庁者30台、身障者用含め31台、公用駐車場が41台、計72台です。これを今回の駐車場の算定では議員・職員・公用駐車場の整備を想定し計算したところ、来庁者用79台、議員用14台、公用車用41台、職員用76台、合計210台の計画とし、これを敷地面積に反映し、上限値の10,000㎡が必要と整理したところです。

(委員長) 他にご意見はよろしいでしょうか。私のほうから1点確認したいのですが、第9章のところは先ほどのご説明の中で敷地を一つに絞った場合、規模とか機能を踏まえて、概算事業費を算出されるということですが、例えばどこか決まった時にここじゃなかった

らこの後どうするかとか、市民館のあとをどうするかとか、そういったことが出てくると思うのですが、そのあたりは少しふれたりするのでしょうか。

(事務局) 3カ所の中で候補地が決まった後の跡地の利活用については、委員会で提言いただければ、基本計画の中に盛り込むかどうか、庁内で検討をさせていただきたいと思っております。

(委員長) 整備位置が決まった時に跡地をどうするかというのは大きな課題だと思いますので、庁内でも検討をしていただければと思います。規模や予算にも大きく影響すると思います。詳細に詳しく的確に資料を作っていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。それでは次に進めてよろしいでしょうか。では、4番目の新庁舎整備位置の評価について事務局の説明をお願いいたします。

(事務局) ※事務局説明

(委員長) 評価方法について説明がありましたが、ご質疑、意見などありますか。評価項目としては、市民の利便性、計画の経済的と実現性、防災拠点と安全性、まちづくりとの整合性の4つありまして、それぞれに細かい項目があり、これについてここで皆さんと話し合いをして、○か△か×をつけるという流れになります。それでは評価方法についてはご理解いただけたということで、これより実際に外部評価に入りたいと思います。別紙、評価シートをご準備ください。4つの評価基準、11の評価項目が1あります。全部一気にやるとわかりにくいので、4つの評価基準ごとに評価を進めたいと思います。

はじめに委託事業者が各候補地に対する調査結果、事務局から内部評価の結果をご報告いたします。この調査結果を受けて委員の皆様がどう評価するか協議して進めたいと思います。では、1、市民の利便性①都市機能の集積・にぎわい、②交通アクセスについて調査結果をご報告をお願いします。

(委託事業者) ※調査報告説明

(委員長) 続いて事務局から内部評価結果をお願いいたします。

(事務局) ※内部評価結果説明

(委員長) それでは私どもの評価をどうするか、ご意見ををお願いします。では順番にご意見ををお願いします。

(B委員) 垂水市役所と市民館と旧フェリー駐車場用地は、全てバス停に近く中心市街地にあるということなので、私は適しているということで、○で良いと思います。

(委員長) それでは①、②とも○でいいということですね。

(C委員) 私も全ての駐車場用地が確保できるという条件付けであれば3候補地とも○でいいと思います。

(D委員) 今説明いただいたのですが、ここについては問題ない気がします。

(A委員) A・B・C一目瞭然、見たときコストの掛からなくてすむCと言いたいけど、商工会の代表できています。商工会を考えた場合、私はB、駐車場なんかを考えたら、地下に駐車場をもってきたら耐震性も増すのではないかとということでBをあげているのですが、誰が見てもCが1番すぐ用地も買収することもないしと思いつつ、でも私はやはりBだと思っております。

(委員長) ではどうしましょうか。1つ1つ評価をしていこうと思っております。1番最初の都市機能の集積、賑わいということでこの3つの敷地はどうですか。○・○・○なのか、

△・○・△なのか。

(A委員) △・○・△です。

(委員長) わかりました。交通アクセスの方は○・○・○でよろしいでしょうか。それでは次の委員。

(E委員) 都市機能と交通アクセスの件ですが、現在の市役所と市民館は○、フェリーのところは集積具合からちょっと遠いということと、交通アクセスも高齢者が利用する場合にどうか、ということで△です。

(F委員) 私は、土地の買収ができるのであれば現在のところでいいと思う。みんな慣れた場所がいいのかなど。買収が無理だったら元フェリーの駐車場を埋め立てをして海岸線を津波とかの防壁とか眺めが悪くなるかもわからないが、私としてはフェリーのところが○です。

(委員長) 市民の利便性というところではどうですか。

(F委員) かえってこっちの方がいいと思う。

(委員長) 交通アクセスの方は○・○・○ですか。

(F委員) はい、

(委員長) 1番上は○・△・△。

(F委員) これは△ですね。フェリーの跡が○で、市役所が△で、Bは×。

(委員長) 賑わいという意味だけですかね。全体の評価は最後になりますので、その1行目の賑わいという点ではどこが1番いいのかということです。最初のところだけで評価するとどうでしょうか。

(F委員) 賑わいとしてはAは○。

(委員長) Bの敷地は○でよろしいですか。

(F委員) これも○でいいです。

(委員長) 昔のフェリー駐車場は。

(F委員) ここはアクセスの方はいいと思う。賑わいはちょっとだけど利便性のほうが。

(委員長) では、利便性が○で賑わいが△でよろしいですかね。

(F委員) はい。

(委員長) 次の委員の方をお願いします。

(G委員) 賑わいに関してはA・Bは市街地のところなので○だと思います。旧フェリー乗り場の方は、実際もし建つとなったらそこを中心に賑わっていくとは思っているので、現時点で賑わいがどうかといわれると○ではないかと思う。アクセスに関しては、今バス停のことだけ言われているのですが、実際バスを使ってこられる方がどのくらいいるのか考えた時に、だいたいマイカーか高齢者の方が徒歩でこられるということだと思います。そのバランスがどうかということで、ちょっと違ってくるのかと思います。そうなるとA・Bは徒歩にしてもマイカーにしても○だと思います。旧フェリー乗り場のところは高齢者にとって行きやすいかどうかというと、△なのかなと思う。ただ高齢者の方は徒歩で来られているのかなというのがあるので、そうでもないのであれば3つとも○なのかなと思います。

(H委員) 市民の利便性ということで3候補地とも○でおります。ただしCの賑わいというのではちょっと寂しいところなのですが、そこにちょっと期待をこめて色んなお店も出てく

るかなというのも考えて、全部○にしました。

(I委員) 3カ所、利便性、交通アクセス、これが同じようであれば○でいいと思います。

(J委員) はい、私もA・B・C、○でいいと思います。

(K委員) まず①都市機能の集積・賑わいなのですが、私はAとBは現状周辺に飲食施設等がたくさんあるので○、Cに関しては周辺に飲食施設等が現時点でないということでは△という評価をしております。あと交通アクセスなのですが、先ほどおっしゃられていたようにバスでどのくらいの方が来られるのかというのはもちろんあると思いますし、現状でのバス停からの距離というのを書かれているのですが、私は地元の間人じゃないので、例えば垂水市役所とBの垂水中前とCの垂水、3つのバス停が同じ路線であるのかどうか、それぞれどれくらいの間隔でバスが来るのかどうか、情報が全くないのですが、バス停からの距離というところだけで考えるといずれも○と評価をしております。ただバスの路線ですとか、あるいはどれくらいの本数なのかによっては評価が変わるのかなと思います。

(委員長) ありがとうございます。今、たまたま質問が出たのですが、バス路線というのが補足できるのでしたらお願いいたします。

(事務局) 基本的にはバスターミナルがC地点でございます。最終的な路線としてはほぼ同じような本数が入っていると考えていただければと思います。

(K委員) そうすると○・○・○と評価をさせていただきます。

(L委員) 私の方も都市機能の集積という点では、A・Bは共に国道沿いで垂水という町は国道が全ての基準になっている町だと思いますので、国道沿いであるこの2ヶ所は○という評価ができるかと思えます。あと旧フェリーの離れてしまうと△という評価になってしまうと思えます。個人的にはなりますが、当社自体、以前は国道沿いであって旧フェリーのそばに移転をしました。前の場所よりはやはり高齢のお客様方等々は減っているのが現状です。最初はそんなにないだろうと思っていたのですが、やっぱり歩いてこられる高齢者の方等々はちょっと離れただけで不便を感じられるのが現状なのではないかと思えます。町の国道沿いにあるということが公共的な施設としては重要なのではないかという気がします。それと周りに市場、病院等々、公共性の高い建物の地域もありますと言いますが、この辺は大きな車も通ったりしますので、その点についてもどうかという気もします。

(委員長) ありがとうございます。意見をまとめますと、①都市機能の集積・賑わいについては、多くの方が○でしたので、A敷地について○でよろしいでしょうか。B敷地についても都市機能の集積・賑わいについて、ほとんど○ということだったのですが、Cについては△の方が若干多かった気がします。よって、都市機能の集積・賑わいは△ということでもよろしいでしょうか。

では、○・○・△。それから交通アクセスについてはA・Bはほとんどの方は○で、Cについてやはり歩いてこられる方について少し懸念があると意見がございまして、これは確かにそういうことが考えられると思いますので、もしCになった場合は歩行者道路みたいなものを検討などしないといけないのかなと、そんな気がいたします。安心してそこまで歩いていけるルートを作らなくてはいけないのかもしれないかもしれません。ほとんどの方が○だったので多数決の原理で②は○・○・○でよろしいですか。そのかわり、今の

後者について検討すべきだ、という意見を加えさせていただくということでよろしいでしょうか。

それでは2の計画の経済性と実現性のほうの説明をお願いしたのですが、よろしいでしょうか。

(委託事業者) ※調査報告説明

(委員長) ありがとうございます。それでは事務局から内部評価についてお願いします。

(事務局) ※内部評価結果説明

(委員長) ありがとうございます。意見・質問ですが、平成32年までの事業債は、建設費に対する補助金ですか。用地取得に関してもでるのですか。

(委託事業者) 用地取得に関してはできません。

(委員長) ということは先ほどBの敷地で4,000㎡の敷地は建てられるけれどもと話があったので、例えば建設を先に進めて、駐車場用地である隣地を長期に交渉して買うということはあるのでしょうか。

(委託事業者) それについては可能です。

(委員長) それともう1点ですが、最近庁舎は建て替えも多く既存の建物を活用しています。例えば体育館を改装するなどご検討はされたのでしょうか。

(委託事業者) その検討はやっておりません。

(委員長) 今後場合によっては何か計画の可能性はあるということよろしいでしょうか。

(委託事業者) よろしいと思います。

(委員長) それではA・B・Cの報告がありましたので、これについて皆様のご意見を求めたいと思います。最初に2の計画の経済性と実現性、①用地取得、②工期、③概算事業費についてA・B・Cの評価を順番にご意見いただければと思うのですが、今度はK委員からお願いしてもよろしいでしょうか。

(K委員) まず、候補地Aですが、用地取得のところでは19件、用地取得の交渉が必要だということで、そういうことを考えると用地取得のところは×、不適切だろうと考えています。候補地Bは、用地取得の点でここもいくつか用地取得しないといけない点で△。候補地Cに関しては、こちらは容易に行えるということなので○という評価としました。工期に関しても、用地取得の関連で候補地Aは事業債の関係も考えるとなかなか難しいのではないかとということで×。候補地Bに関しては△。候補地Cに関しては○としました。概算事業費に関しましても、これも用地取得の関連、仮設の庁舎を建てないといけないということで、候補地Aは×、候補地Bは△、候補地Cは○という評価としました。

(J委員) Aの方からいきます。用地取得△。候補地B、これも色々な条件があり、難しいだろうということで△。候補地Cは○。工期、これも色々な条件を考えるとAは△、Bも大規模な補償対象を考慮し△、候補地Cは○。概算事業費、コストの件ですが、この会議に参加しながら30億という線が出ており、それで事業を行いたいということでしたので、候補地Aは×、候補地Bは×、候補地Cは○、新庁舎はつくらないといけないだろうと私は思っております。

(I委員) 用地取得のAからいきます。用地取得にかなりの金額がかかるだろうと思います。×です。Bの方も用地取得が難しいかと思えます。×です。Cは○です。工期、Aは3年以上要するとなかなか難しいということで△です。Bも△にしました。Cは○です。そ

れから概算事業費、コストも事業費が高つくということで、Aは△、Bも△にしました。Cは○にしております。

- (H委員) 候補地Aからいきます。Aの①・②・③とも△、Bの①・②・③とも△、Cは①・②・③とも○にしました。
- (G委員) 候補地Aは①・②・③とも×、候補地Bは事業債の借り入れをするための工期を考えた時に用地取得はこれに含まれないということだったので先ほどおっしゃった店舗の方の駐車場整備をあとにまわして建物の方から始めるという意味で工期は△にしました。用地取得も△、コストも△です。候補地Cは①・②・③とも○です。
- (F委員) 私は候補地A、候補地Bは土地の相手があることなのでなかなか進まないと思います。2年、3年と。こういう点から×です。Cの方は○にしたいと思います。工期も用地買収がかかりそうなのでこれもA・B、両方とも×です。Cの方は更地ですので○です。コストは、最初は32~33億円といったけど、コストの面はAとBは少し高く、Aは今から次の仮設をつくらないといけないので×です。Bも段階的に土地を買収できるのであれば△ですが、庁舎をつくった段階で確保できるのであれば、それもなかなか相手もいることですし、△でしたけど、やっぱり×です。Cの方もさっき言ったとおり、○にしました。
- (E委員) 駐車場確保の件ですが屋上を利用する、そして防災拠点として津波とかそういうときに住民が避難できると思います。当然垂水市はすごく低いところですので、本城川が決壊すると垂水市自体が浸水する可能性があります。庁舎の屋上を普段から駐車場とすると、そこも避難ができるという考え方もあるのではないかと思います。それから市民館が大分老朽化しております。いずれはまた建て替えなければならないと思います。それもまた考えないといけないことだと思います。それで色々な利便性からBを候補地としたいのですが、コスト面も先ほどの説明でありますと、相当かかるということですが、将来の展望を考えればBの候補地というのを第1に考えてもいいのではないかと思います。Aは工期と概算事業費は△です。Bの用地取得は△に入れましたけど、この近隣にはまだ市の用地がある。○○は市有地、それから○○等の駐車場も市有地ですよ。そういったところも活用すれば駐車場としても活用できるだろうし、この考え方でBの用地取得は△をいれました。工期とコストは○にしました。それからCの方は全て一応○にしました。
- (A委員) ○・×はE委員と一緒に。ただ、桜島、南九州はカルデラが4つ並んでおります。ちょうど桜島は100年周期で大爆発をしていると、ちょうど今大正噴火から102年目です。そういったものを考えた場合、大丈夫なのかなと、すぐ横は海。特に豪雨と満潮が重なった場合は垂水の埋立地は水はけが今でも相当悪い。そういう場合、交通アクセスを考えた場合大丈夫なのかなと思います。ただコスト面から考えた場合はもうCに決まりだなと、でもそういう自然災害を考えた場合には素直に手を上げられないという実感です。
- (委員長) そうするとAは△・△・△。次が△・○・○。最後が○・○・○ですね。
- (D委員) 候補地Aの方から言いますと、用地取得は計画敷地に対して敷地が不足している点と、仮設庁舎用地の確保が困難だということを踏まえて、一応△にしました。工期は用地取得の交渉が3年以上かかるということで、これではまた遅れていくのではないかというこ

とで×にしました。コストの方に関しては△にしました。候補地Bは、ここも敷地が不足ということでございますし、そしてまた市民館、公民館というものもありますのでそういうことを考えたりしたら、市役所同様△で考えております。工期に関しては取得交渉、2年以上を要するというところでございますので、これもまた△です。コストに関しても市役所同様△であります。候補地Cは全ての土地をわりと簡単に買えるということで、用地取得は○と考えております。工期に関しても何もない更地ですので、わりと早くいくのではないかなと思います。コストに関しても先ほどいろいろご説明いただきましたけれども、この3つの中では1番よかったですので○でいいと思っております。

(C委員) A案の用地取得は色んな課題があるということで×をしました。工期の部分についても3年以上ということで財政面を考えた時にやはり×なのかなとしました。あとコストの部分についても当初の予算を大幅に超過するので×をつけております。B案は用地取得の部分については、これも可能性があればというのを前提に△をつけました。工期の部分は事業債との絡みの部分、これは間に合うかわからなかったのが△、コストの部分も△にしました。C案の部分については用地取得、工期、概算事業費の部分について支障がないということで、全て○の評価にしました。

(B委員) 候補地Aに関しては仮設庁舎を建てたり、19件の物件補償があったりするので×にしました。工期に関しても3年以上かかってしまうと、地方債の活用ができなくなることを考えて×にしてあります。コスト面は△にしてあります。候補地Bに関しては先ほど教えていただいたように、先に市民館の方に庁舎を建て、あとから駐車場建設ということも考えれば△にしました。工期の方も△にしてあります。コスト面も△です。候補地Cに関しては全て○にしてあります。

(L委員) 候補地Aは、○・×で言えば、用地取得はこれだけの土地を買収するのはありえないと思いますので×です。工期も予定よりもかかるでしょうから基本△、コストも×にしました。候補地Cを先にお話しますが、皆さん方ご存知の通り今更地なので、何の問題もない。候補地Bが基本、今の話だと10,000㎡の土地を取得しないといけないという大前提で話されていますが、○○さんに撤退しろということになります。それはそれで町としては問題ではないかと思えます。先ほど駐車場の話をされていますが、E委員が言われたように、屋上を駐車場にされるとか、○○さんともっと仲良くして駐車場の方を立体駐車場にして駐車場を兼用するとか、なんか別の方法で○○さんも市役所も上手くいくような方法を取れるのが1番いいのではないかと思ってここは△ということにしました。

(委員長) Cは全員○だったので○でいいと思うのですが、よろしいですか。

Bは用地取得のところ△が多かったと思います。工期と概算は○もあつたし、×もあつたのですが△が1番多かったような気がしてまして、△でよろしいでしょうか。

Aが結構難しく、①が△と×が一緒で、②も一緒。どうしましょうか。差をつけるためには、ほぼ一緒なので×・×・×になるのかもしれないのですが。

(C委員) 挙手したらどうですか。

(委員長) 挙手しますか。では、用地取得×の方【挙手確認】、×ですね。工期は×の方【挙手確認】、×ですね。それから、概算コストは×ですね。×・×・×でちょうどわかりやすくなりました。それでは、3番の防災拠点、安全性について説明をお願いします。

(委託事業者) ※調査報告説明

(委員長) 内部評価についてお願いします。

(事務局) ※内部評価結果説明

(委員長) ありがとうございました。多分、一人一人お聞きしていく時間がないと思いますので、津波についてご意見、先ほど心配の声がありましたので、何かご意見がありますか。

(E委員) 海岸に1番近いCが課題と思います。BとAというのは海から少し離れている感じがあります。防災拠点は広い土地があるからいいということもいかなものかなと個人的には思います。先ほど私が言いました防災拠点として屋上を利用するというというのは近隣の方々、ここは周囲に高い建物がなく市民の方が浸水で一時避難するのはどこかといったらない。よって、浸水区域は先ほど行政側からもありましたけど、本城川が氾濫した時には垂水市内はほとんど浸水することになりますので、市民がどこに逃げるのか考えた方がいいのではないかと思います。

(A委員) 現在、中央病院付近は、豪雨になると水浸しになります。それと同じ地形のところで大丈夫なのか。今からそんな豪雨が何回起こるかわからないし、年々ひどくなると気象庁の発表もあります。私は最初、資料を見たとき、それは誰だってCにあげますよ。コストは安い、面積は広い、用地取得も簡単だ。なんら欠点がない。でも全体を見た場合、市の景観というか町並みという点からしても相当なマイナスがあるのではないかと考えております。

(委員長) 今のお話だと津波・浸水・防災拠点ともCはまずいのではないかと、お二人ともそういう考えですか。先ほどのお話で例えばBについては、ここに建てれば市民が屋上に上がれるから評価すべき、そういう考え方ですか。そうすると、Bは○・○・○になりますが、そのあたりをどういう判断をすればいいのか、ちょっとわからなかったのですが。

(E委員) Bは全て○です。

(委員長) そうするとAは、Bと同じ考え方でよいですか。他にはご意見ありますか。よろしいですか。では順番に挙手でいきます。候補地A、津波は○の方は【挙手確認】、○ですね。浸水についてAの敷地は○の方【挙手確認】、○ですね。

(E委員) わたしは△。

(委員長) Aは△、ちょっと川に近いということですね。

(E委員) 結局浸水が、全て浸水するという解釈です。

(委員長) △。次、防災拠点性はここの敷地はどうでしょうか。○の方【挙手確認】、△の方【挙手確認】、△ですね。次が敷地Bです。津波が○の方【挙手確認】、○ですね。浸水についてはどうでしょうか。○の方【挙手確認】、○ですね。防災拠点性は○の方【挙手確認】、△の方【挙手確認】、△ですね。次にCの敷地です。津波について○の方【挙手確認】、△の方【挙手確認】、△ですね。浸水については○の方【挙手確認】、△の方【挙手確認】、△ですね。防災拠点性について○の方【挙手確認】、○ですね。ということでしょうか。何か意見がございましたらお伺いします。

(J委員) Cのところ想定区域外となっているが、これ正しいですか。

(事務局) 想定区域外です。

(委員長) それでは最後のまちづくりとの整合性に入りたいと思います。説明をお願いいたします。

(委託事業者) ※調査報告説明

(委員長) では、内部評価の結果をお願いいたします。

(事務局) ※内部評価結果報告

(委員長) ありがとうございます。今のまちづくりとの整合性、公共施設の拡張性に対しましてご意見ございましたらお願いいたします。

(H委員) 今のこのAを仮にCに移転した場合、Bの市民館は現状維持のままCに持っていく段取りはできないのでしょうか。

(事務局) 仮にこの機能がCにいった後、Bはどうなるのかですけれども、今新庁舎の整備計画の中では、市民館に教育委員会も入っているのですが、教育委員会も本庁舎のほうに再編するようにしていますので、市民館からは教育委員会が移ります。ただし、もともと公民館という位置づけで運営していますので、そういった機能は残ります。今のところ言えるのはそういう情報だけです。

(委員長) 他に何かございますか。

(C委員) 庁舎については関係ありませんが、市民館も老朽化しています。市民館の将来計画は、行政側としてはあるのでしょうか。

(事務局) 市の建物につきましては、市民館を含め老朽化、建物を建ててから相当な年数が経っている状況でございまして、ここに関しては公共施設の維持管理の計画を市として立てておりますので、その中で年次的に手を加えながら作り変えるもの、また補修をするものといったような形の中で整備計画を立てられておりますのでその中で整備をされていくこととなります。

(委員長) 1点質問ですが、拡張性とか再編のところですが、垂水市民館や垂水市役所の敷地は建築基準法の建ぺい率が高いので、たくさん建物が建てられると思いますがその辺の評価はないのでしょうか。コンサルさんに聞きたいのですが。

(委託事業者) そういう観点から捉えますと、建物をたくさん建てることは可能です。ですから、市役所だけではなく他のものとの一緒に整備することも考えられますが、そこは市の方の捉え方、皆様の考え方に沿っていくものと考えます。

(委員長) ですから、市民館の敷地もひょっとすると市民館、公民館と一緒に整備できる可能性は建築基準法からはあるということよろしいでしょうか。

(委託事業者) はい。

(委員長) 他に質問、ないでしょうか。

(A委員) 冒頭から言いますとおり、敷地とか土地の取得からいったらCに決まりだと思えます。しかし、東日本大震災では庁舎も壊されてしまいました。海まで0mのところにつくってもいいのか、とずっと皆様の意見を聞きながら思っていました。100mでも200mでも海から遠いほうがいいのではないかと。台風が来ても錦江湾内だから対策はないとは思いますが、現在でも中央病院の前は、舗装はされているがいったん洪水がおこると水浸しになります。道路をあげない限りあそこは現状のままです。その延長線上にあるわけですが、それで大丈夫なのか、危惧しております。

(委員長) 他にご意見ありますか。例えば最初の商業エリアとの連携とかA・Bはあって、Cは別な連携ですが、公共施設の再編ではAとCは対象がないからいいですが、Bは市民館・公民館について検討しなければいけませんよ、ということで先ほども言いましたように

検討事項とします。それから公共施設の拡張性はCの敷地は非常に広いので高いという評価ですけど、AもBも建築基準表上は問題ないと考えます。

それでは表決に入ります。最初にAの敷地①、②、③と順番にいりますが、Aの各種計画との整合性は○の方【挙手確認】、○をお願いします。Aの他公共施設の再編は○の方【挙手確認】、○です。公共施設の拡張性は○の方【挙手確認】、△の方【挙手確認】、△をお願いします。候補地Bですが、各種計画との整合性は○の方【挙手確認】、○です。他公共施設の再編は○の方【挙手確認】、△の方【挙手確認】、△です。公共施設の拡張性は○の方【挙手確認】、△の方【挙手確認】、△です。Cの敷地ですが、各種計画との整合性は○の方【挙手確認】、○です。他公共施設の再編は○の方【挙手確認】、○です。公共施設の拡張性は○の方【挙手確認】、○です。

以上で外部評価は終了しました。垂水市庁舎検討委員会としては、これでよろしいでしょうか。意見として気になりましたのは防災関係の部分は意見として出した方がいいのではないかと思います。建築から言うと海側は吹いている方に何も無いので風が強いです。ところが市街地に入ってくると障害物があるから風力が落ちます。ですから、風とか台風とか浸水とか心配なことがあるということを意見として伝えたいと思います。あとは歩行者に対する配慮をするのが位置的に必要だと思います。他に何かありますか。

(委員長) それでは本日の協議事項、終了しました。何か全体を通して何かご意見はございませんか。よろしいでしょうか。本日で協議事項は終了し、委員会を終了いたします。ありがとうございました。